

## 2018年度(平成30年度)水道事業の決算見込みの概要

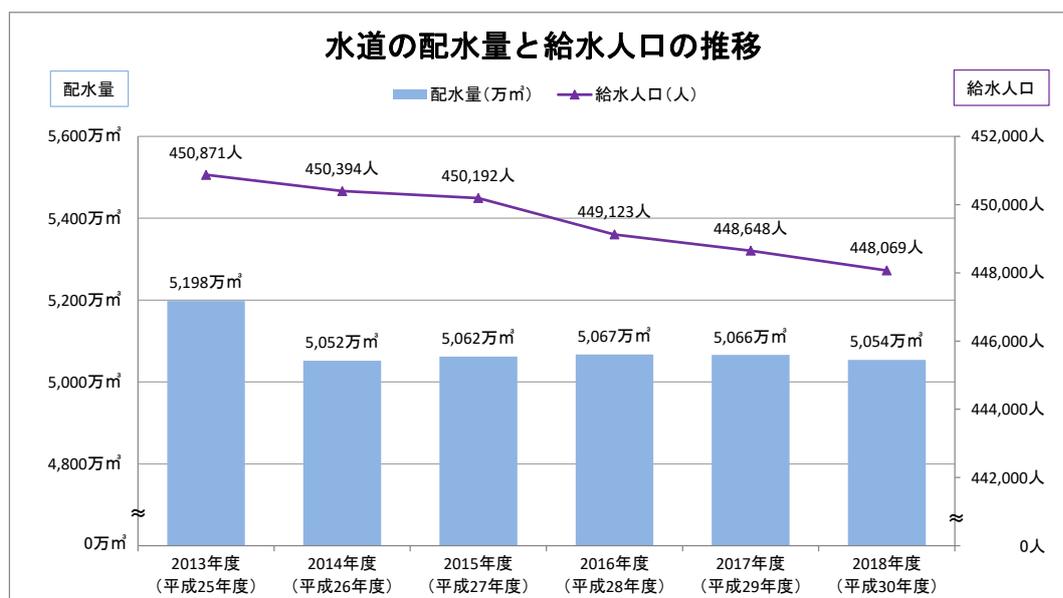
2018年度(平成30年度)水道事業の決算見込みの概要をお知らせします。

### 水道事業

#### 1 業務状況

水道事業の業務状況は、次のとおりです。

事 項	2018年度 (平成30年度)	2017年度 (平成29年度)	増 減
給 水 人 口	448,069 人	448,648 人	△ 579 人
普 及 率	95.7 %	95.7 %	0.0 點
給 水 戸 数	210,977 戸	209,300 戸	1,677 戸
配 水 量	50,544,633 m <sup>3</sup> /年	50,659,773 m <sup>3</sup> /年	△ 115,140 m <sup>3</sup> /年
一 日 平 均 配 水 量	138,478 m <sup>3</sup> /日	138,794 m <sup>3</sup> /日	△ 316 m <sup>3</sup> /日



## 2 建設改良事業の概況

2018年度(平成30年度)に実施した主な建設改良事業は、次のとおりです。

### ○第六期拡張事業【1億1,110万円】

配水管布設工事(六拡30-2) 外

### ○配水管整備事業【22億8,495万円】

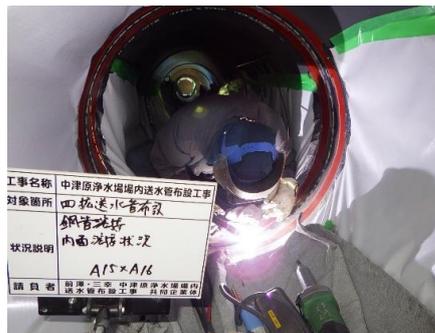
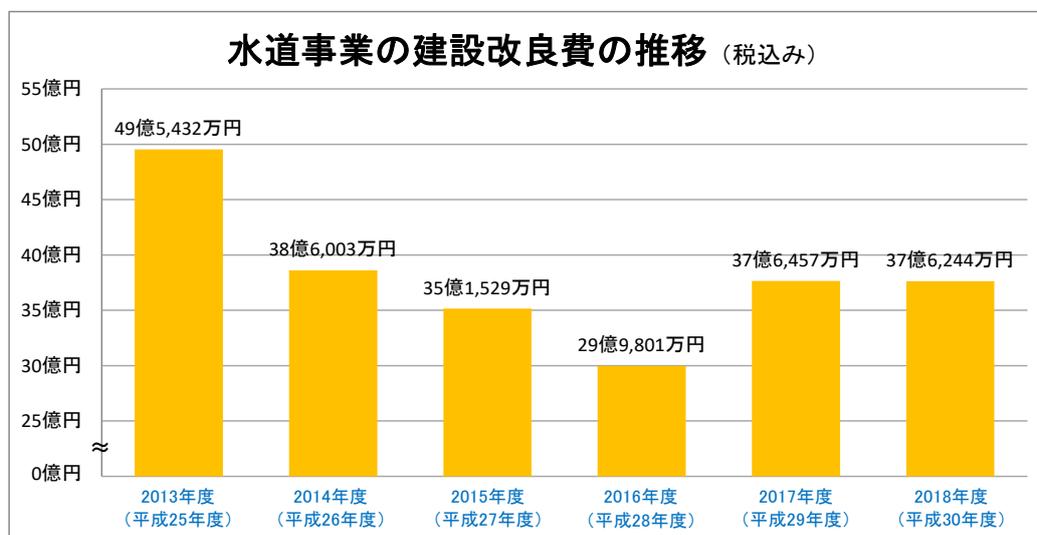
配水管布設工事(配整30-24) 外

### ○配水管及び施設改良事業【12億9,645万円】

配水管布設工事(配改30-5)

中津原浄水場場内送水管布設工事

中津原浄水場送水ポンプ電気設備工事 外



中津原浄水場場内送水管布設工事

### 3 財政状況等

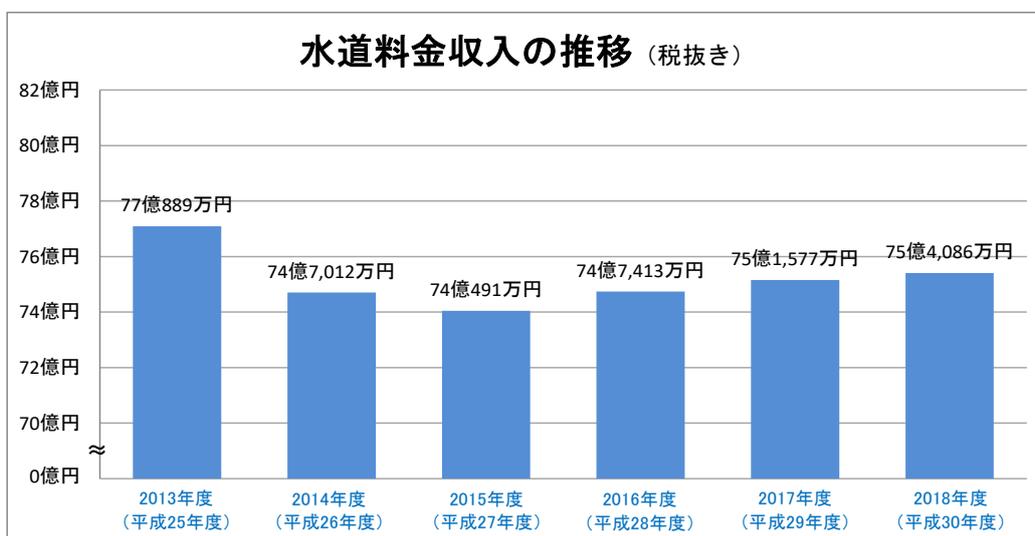
#### (1) 収益的収支(水道料金の収納や水道水の供給などに伴い発生する収入と支出)

本年度の経営収支状況について、事業収益は、給水収益(水道料金収入)が増加したものの、長期前受金戻入が減少したことなどにより、前年度と比較して、1億7,404万円(2.0%)減少し、85億890万円となりました。

一方、事業費用は、資産減耗費や修繕費が減少したことなどにより、前年度と比較して、1億7,734万円(2.6%)減少し、67億4,052万円となり、差引17億6,838万円の当年度純利益を計上しました。

(税抜き)

事 項	2018年度 (平成30年度)	2017年度 (平成29年度)	増 減
収 益 的 収 入 (うち、水道料金収入)	85億890万円 (75億4,086万円)	86億8,294万円 (75億1,577万円)	△1億7,404万円 (2,509万円)
収 益 的 支 出	67億4,052万円	69億1,786万円	△1億7,734万円
差 引	17億6,838万円	17億6,508万円	330万円

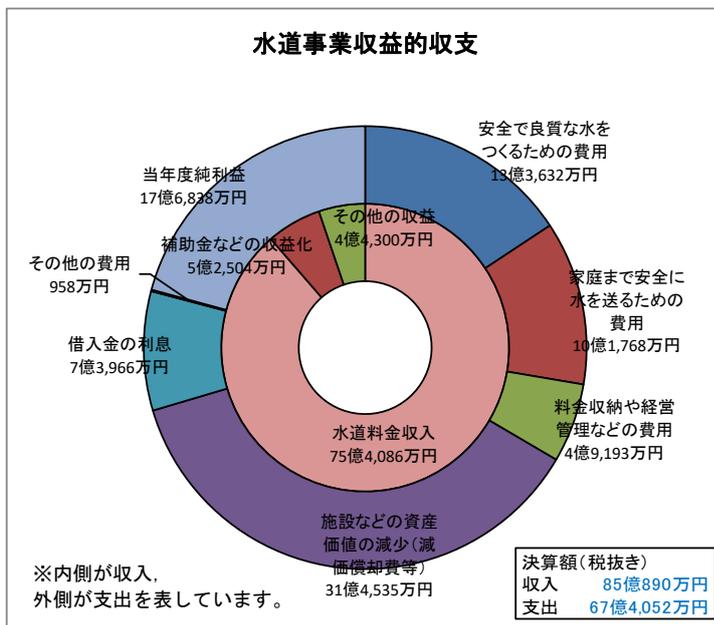


水道事業損益計算書

【2018年(平成30年)4月1日から2019年(平成31年)3月31日まで】

(税抜き)

科 目		決 算 額	円グラフの表示
営業収益	給水収益	75億4,086万円	水道料金収入
	他会計負担金	4,447万円	その他の収益
	その他営業収益	2億9,728万円	
営業費用	原水及び浄水費	13億3,632万円	安全で良質な水をつくるための費用
	配水費	8億4,610万円	家庭まで安全に水を送るための費用
	給水費	1億7,158万円	
	業務費	2億2,998万円	料金収納や経営管理などの費用
	総係費	2億6,195万円	
	減価償却費	30億8,533万円	施設などの資産価値の減少
	資産減耗費	6,002万円	
営 業 利 益		18億9,133万円	
営業外収益	受取利息	300万円	その他の収益
	他会計負担金	3,051万円	
	長期前受金戻入	5億2,504万円	補助金などの収益化
	雑収益	6,774万円	その他の収益
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	7億3,966万円	借入金の利息
	雑支出	489万円	その他の費用
経 常 利 益		17億7,307万円	
特別損失	過年度損益修正損	469万円	その他の費用
当 年 度 純 利 益		17億6,838万円	



(2) 資本的収支(水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

資本的収入は、企業債(借入金)などにより、17億5,174万円となりました。

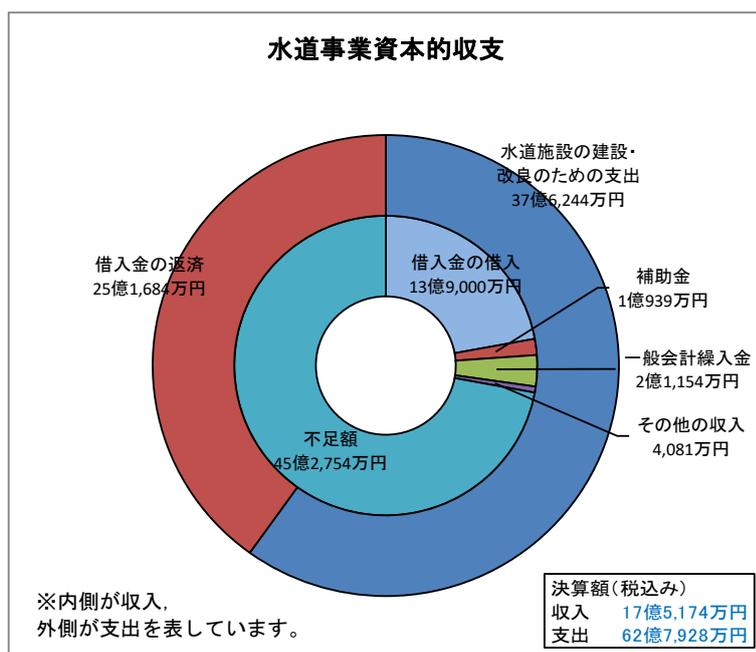
資本的支出は、建設改良費や企業債償還金(借入金の返済金)により、62億7,928万円となりました。

資本的収入が資本的支出に不足する額は、45億2,754万円となり、積立金などで補てんしました。

また、資金残高は前年度と比較して、2億1,965万円増加し、38億3,937万円となりました。

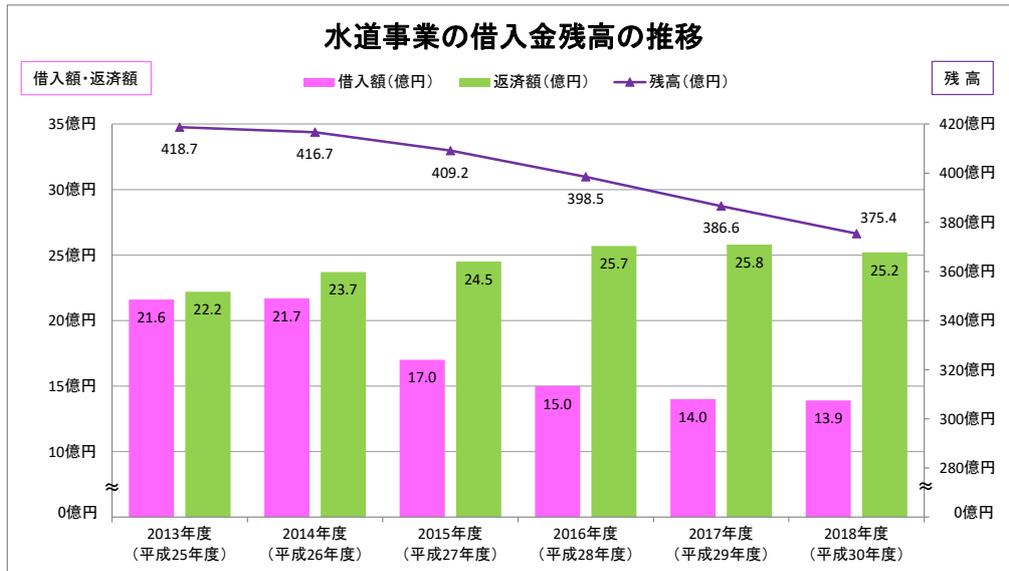
(税込み)

科 目	決 算 額	円 グ ラ フ の 表 示
資本的収入	17億5,174万円	
企業債	13億9,000万円	借入金の借入
県補助金	1億939万円	補助金
その他補助金	316万円	その他の収入
出資金	1億6,665万円	一般会計繰入金
工事負担金	3,765万円	その他の収入
他会計負担金	4,489万円	一般会計繰入金
資本的支出	62億7,928万円	
建設改良費	37億6,244万円	水道施設の建設・改良のための支出
企業債償還金	25億1,684万円	借入金の返済
差 引	45億2,754万円	不足額



### (3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて11億2,684万円(3.0%)減少し、375億3,691万円となりました。



## (4)貸借対照表

水道事業の財政状態を示す貸借対照表は、次のとおりです。

## 水道事業貸借対照表

【2019年(平成31年)3月31日】

(税抜き)

資 産 の 部		負 債 の 部	
固定資産	867億6,747万円	固定負債	360億3,738万円
有形固定資産	694億3,527万円	企業債	350億5,182万円
無形固定資産	173億2,460万円	引当金	9億8,556万円
投資その他の資産	760万円	流動負債	36億6,594万円
流動資産	50億2,021万円	企業債	24億8,509万円
現金及び預金	47億3,322万円	未払金	10億9,262万円
未収金	2億5,149万円	前受金	309万円
貯蔵品	2,328万円	引当金	4,589万円
前払費用	1,212万円	その他流動負債	3,925万円
その他流動資産	10万円	繰延収益	137億3,597万円
		長期前受金	137億3,597万円
		資 本 の 部	
		資本金	342億7,852万円
		資本金	342億7,852万円
		剰余金	40億6,987万円
		資本剰余金	4億6,104万円
		利益剰余金	36億883万円
		(うち当年度純利益)	(17億6,838万円)
合 計	917億8,768万円	合 計	917億8,768万円

## (5)キャッシュ・フロー計算書

水道事業の現金・預金の増減を示したキャッシュ・フロー計算書は、次のとおりです。

(税抜き)

項 目	現 金 ・ 預 金 の 増 減
前年度末の現金・預金の残高	45億8,498万円
業務活動によるキャッシュ・フロー (水道料金の収納や水道水の供給などに伴う現金・預金の収支)	43億9,418万円
投資活動によるキャッシュ・フロー (水道施設の建設・改良などに伴う現金・預金の収支)	△32億8,576万円
財務活動によるキャッシュ・フロー (資金の調達や返済に伴う現金・預金の収支)	△9億6,018万円
当年度末の現金・預金の残高	47億3,322万円